



2026年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月14日

上場会社名 株式会社ALINKインターネット 上場取引所 東
 コード番号 7077 URL <https://www.alink.ne.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 池田洋人
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート部長 (氏名) 小幡真幹 (TEL) 03-6907-0158
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第3四半期の連結業績 (2025年3月1日～2025年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第3四半期	758	10.0	△54	—	△27	—	△59	—
2025年2月期第3四半期	689	—	61	—	76	—	70	—

(注) 包括利益 2026年2月期第3四半期 △59百万円(-%) 2025年2月期第3四半期 70百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第3四半期	△32.81	—
2025年2月期第3四半期	39.01	37.78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期第3四半期	2,226	1,601	72.0
2025年2月期	1,834	1,661	90.5

(参考) 自己資本 2026年2月期第3四半期 1,601百万円 2025年2月期 1,661百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年2月期	—	0.00	—	—	—
2026年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想 (2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	962	8.3	△132	—	△103	—	△79	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社（社名）— 、除外 一社（社名）—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期3Q	2,136,900株	2025年2月期	2,136,900株
② 期末自己株式数	2026年2月期3Q	330,068株	2025年2月期	330,068株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年2月期3Q	1,806,832株	2025年2月期3Q	1,803,777株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や政府の経済対策等により、景気は緩やかに持ち直しておりますが、米国の通商政策の影響や地政学リスクの高まりなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは“未来の予定を晴れにする”を経営理念として、主力サービスである天気予報専門メディア「tenki.jp」を一般財団法人日本気象協会との共同事業として運営しております。

tenki.jp事業においては、安定的なPV(ページビュー)数の増加とPV当たり広告単価の維持に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高758,101千円（前年同期比10.0%増）、営業損失54,556千円（前年同期実績 営業利益61,873千円）、経常損失27,782千円（前年同期実績 経常利益76,582千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失59,277千円（前年同期実績 親会社株主に帰属する四半期純利益70,358千円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(tenki.jp事業)

当第3四半期連結累計期間のPV数は、降水量の減少（主要5大都市の降水量は前年同期比大幅減）に加え、主要検索エンジンでの検索ランキングは直近24ヶ月で最高水準を記録するも、AI検索の台頭、検索エンジンやプラウザー独自の気象データ表示の影響により、検索エンジンからの流入数が減少し前年同期比83.8%の42億PVとなりました。

一方で、PV当たり広告単価は依然として低迷基調が続いておりますが、前年同期比103.7%となっております。

費用面に関しては、将来の売上高及び利益の向上を目的として、新たな収益モデルの構築に向けた人件費や開発費等の投資を継続しております。

この結果、売上高432,536千円（前年同期比15.9%減）、セグメント利益148,838千円（前年同期比37.2%減）となりました。

(IPプロデュース事業)

当第3四半期連結累計期間においては、温泉地でしか購入できない「温泉むすめ」のグッズ販売や温泉地の魅力を発信するイベントの開催等は計画に対し順調に推移いたしましたが、ぽか活アプリの開発費用51,204千円、のれんの償却額25,260千円を計上したことなどにより、売上高191,936千円（前年同期比87.3%増）、セグメント損失93,271千円（前年同期実績 セグメント損失57,323千円）となりました。

(その他の事業)

その他の事業では、主力であるtenki.jp事業以外の事業領域の拡大のため新規事業への参入を図っており、太陽光コンサルティング事業及びダイナミックプライシング事業を進めております。太陽光コンサルティング事業につきましては、太陽光発電設備のセカンダリー市場において、一時的に太陽光発電設備を保有することにより、売電収入を得ております。また、ダイナミックプライシング事業につきましては、当該事業に先立つPoC（実証実験）として、首都圏においてレンタルスペースの運営を行っております。

この結果、売上高133,628千円（前年同期比84.3%増）、セグメント利益77,603千円（前年同期比109.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,226,053千円となり、前連結会計年度末に比べ391,187千円増加いたしました。これは主に、短期貸付金が699,766千円増加、売掛金及び契約資産が39,980千円増加した一方で、現金及び預金が397,833千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は624,185千円となり、前連結会計年度末に比べ450,464千円増加いたしました。これは主に、短期借入金が500,000千円増加した一方で、納税に伴い未払法人税等が39,483千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,601,868千円となり、前連結会計年度末に比べ59,277千円減少いたしました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失59,277千円により利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の業績予想につきましては、2025年10月14日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。今後の事業動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

(注) 業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しています。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	743,377	345,544
売掛金及び契約資産	146,953	186,933
商品	2,728	10,823
貯蔵品	180	2,907
短期貸付金	590,318	1,290,084
その他	22,827	98,067
流动資産合計	1,506,385	1,934,360
固定資産		
有形固定資産	31,060	26,833
無形固定資産		
のれん	217,360	185,240
無形固定資産合計	217,360	185,240
投資その他の資産	80,059	79,618
固定資産合計	328,480	291,692
資産合計	1,834,866	2,226,053
負債の部		
流动負債		
買掛金	26,362	28,483
短期借入金	—	500,000
未払法人税等	40,972	1,488
賞与引当金	2,703	2,025
株主優待引当金	5,443	—
ポイント引当金	—	583
その他	82,254	75,408
流动負債合計	157,734	607,988
固定負債		
資産除去債務	15,985	16,196
固定負債合計	15,985	16,196
負債合計	173,720	624,185
純資産の部		
株主資本		
資本金	138,087	138,087
資本剰余金	173,851	173,851
利益剰余金	1,675,655	1,616,377
自己株式	△326,582	△326,582
株主資本合計	1,661,011	1,601,734
新株予約権	133	133
純資産合計	1,661,145	1,601,868
負債純資産合計	1,834,866	2,226,053

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
売上高	689,422	758,101
売上原価	309,753	420,732
売上総利益	379,668	337,369
販売費及び一般管理費	317,795	391,925
営業利益又は営業損失（△）	61,873	△54,556
営業外収益		
受取利息	18,770	16,769
受取精算金	—	10,628
その他	3,761	9,233
営業外収益合計	22,531	36,630
営業外費用		
支払利息	—	1,940
不動産賃貸費用	7,805	7,649
その他	16	267
営業外費用合計	7,821	9,856
経常利益又は経常損失（△）	76,582	△27,782
特別利益		
保険解約返戻金	54,354	—
特別利益合計	54,354	—
特別損失		
減損損失	—	9,452
その他	—	0
特別損失合計	—	9,452
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	130,937	△37,235
法人税、住民税及び事業税	62,075	26,048
法人税等調整額	△1,496	△4,005
法人税等合計	60,579	22,042
四半期純利益又は四半期純損失（△）	70,358	△59,277
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	70,358	△59,277

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	70,358	△59,277
四半期包括利益	70,358	△59,277
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	70,358	△59,277

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号2022年10月28日）、「包括利益の表示に関する会計基準」（企業会計基準第25号2022年10月28日）及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日）を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前第3四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
	tenki.jp 事業	IP プロデュース事業	その他の事業	計		
売上高						
広告取引関連	482,611	—	—	482,611	—	482,611
課金取引関連	31,082	—	—	31,082	—	31,082
温泉むすめ	—	102,473	—	102,473	—	102,473
太陽光コンサルティング事業	—	—	55,461	55,461	—	55,461
ダイナミックプライシング事業	—	—	17,033	17,033	—	17,033
その他	760	—	—	760	—	760
外部顧客への売上高	514,454	102,473	72,494	689,422	—	689,422
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	514,454	102,473	72,494	689,422	—	689,422
セグメント利益又は損失 (△)	237,037	△57,323	37,121	216,834	△154,961	61,873

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△154,961千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に、各報告セグメントに帰属しない役員及び管理部門に係る人件費、経費等の一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

2024年5月10日に株式会社エンパウンドの株式を取得し連結の範囲に含めたことに伴い、当第3四半期連結累計期間においてのれんが235,760千円増加しております。

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
	tenki.jp 事業	IP プロデュース事業	その他の事業	計		
売上高						
広告取引関連	394,645	—	—	394,645	—	394,645
課金取引関連	36,919	—	—	36,919	—	36,919
温泉むすめ	—	191,936	—	191,936	—	191,936
太陽光コンサルティング事業	—	—	102,732	102,732	—	102,732
ダイナミックプライシング事業	—	—	30,895	30,895	—	30,895
その他	971	—	—	971	—	971
外部顧客への売上高	432,536	191,936	133,628	758,101	—	758,101
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	432,536	191,936	133,628	758,101	—	758,101
セグメント利益又は損失 (△)	148,838	△93,271	77,603	133,170	△187,727	△54,556

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 △187,727千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に、各報告セグメントに帰属しない役員及び管理部門に係る人件費、経費等の一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他の事業」に含めておりますダイナミックプライシング事業において、9,452千円の減損損失を計上しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	5,593千円	3,085千円
のれんの償却額	17,960千円	25,260千円